

自在化身体論

超感覚・超身体・変身・分身・合体が織りなす人類の未来

肉体の制約、次元や時空の壁を越え、限りなく拡張された能力を
自由自在に使いこなすことを可能にする「自在化身体」!

今後のDX(デジタルトランスフォーメーション)の鍵を握る
その概念と技術を原点から解説!



発刊: 2021年2月19日
体裁: B6変形縦 約240頁
並製・カバー フルカラー
定価: 本体1,800円+税
ISBN: 978-4-86043-685-8
C3004

著者

稲見 昌彦

東京大学総長補佐/先端科学技術研究センター身体情報学分野教授

北崎 充晃 宮脇 陽一 ゴウリシャンカー・ガネッシュ
岩田 浩康 杉本 麻樹 笠原 俊一 瓜生 大輔

主な目次

- 第1章 変身・分身・合体まで—自在化身体が作る人類の未来—
- 第2章 身体の束縛から人を解放したい—コミュニケーションの変革も—
- 第3章 拡張身体の内外部表現を通して脳に潜む謎を暴きたい
- 第4章 自在化身体は第4世代ロボット—神経科学で境界を超える—
- 第5章 今役立つロボットで自在化を促す—飛び込んでみないと自分はわからない—
- 第6章 バーチャル環境を活用した身体自在化とその限界を探る
- 第7章 柔軟な人間と機械との融合
- 第8章 情動的な身体変工としての自在化技術—美的価値と社会的倫理観の醸成に向けて—

冲方丁をはじめ
著名人から
推薦の言葉も
続々到着!!

「自在化」の概念が

肉体のタブーを超えるときが来た。

これは人とテクノロジーの新世界を
予告する啓蒙の書だ。 [作家] 冲方丁氏

ここまで我々の身体・行動は変革できる、

思考範囲と軸を拡張してくれるDX/
起業を志す者はこの書を取り限界突破せよ。

【『アフターデジタル』共著者/元Google】 尾原 和啓氏

〔能楽師〕 安田 登氏

能楽師は修行によって己れの身体感覚を客席の果てまで拡張させるが、
本書はそれを テクノロジーによって実現する可能性を示す。やられた!

自在化は、人と人工知能、
身体と機械、精神と情報を融合し、
人類に新しく生きる形を与える。

〔ゲームAI研究者〕 三宅 陽一郎氏